

令和元年度 園の自己評価

	評価 (1~5)	今年度の状況
教育・保育	園児一人一人が安心感と信頼感をもって活動に取り組む体験を十分に積み重ねられるようにする	4 3歳未満児・3歳以上時共に安心して色々な体験が出来ている。
	主体的な活動を促す環境の工夫をする	4 各クラスとしては工夫をしているが、園全体としてはまだ課題あり。引き続き全体で改善していく。
	自発的な活動としての遊びを通して指導を行う	4 子どもの思いを大切にしながら活動している中で、指導を行っている。
	園児一人一人の特性や発達に応じた指導を行う	4 一人一人に合わせた指導を行っている。
	活動によって保育所保育指針に示されている3つの資質・能力が育まれている	3 日々の保育の中で自然と育っているが、保育士が特に意識をしている訳でない。
	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を意識し、教育・保育にあたっている	3 意識をしながら保育を行い、日誌の記入も行うようにしているが、クラスにより偏りがある。
	小学校との連絡会に参加し、小学校教育と円滑な接続ができるように情報交換をしている	4 小学校見学や研修、連絡会等を通して行っている。
健康支援	保健計画に沿った保健活動を行う	3 保健指導の分野が不十分。
	園児の機嫌や食欲、顔色を観察し、平常とは異なった状態かどうか注意を払っている	4 毎日の巡回や保育士との連携にて把握している。
	体調不良や怪我が発生した場合、保護者に園児の状況を連絡し、適切な対応をとっている	5 保育士と看護師が連携しながら対応している。
	園児の成育歴や罹患歴、予防接種状況などの情報を把握している	4 ほぼ把握している。(保険調査票・成長の記録などから)
	保健だよりにて情報発信をしている	5 毎月発行している。
	感染症に対して感染症情報を保護者に伝え、感染症予防に努めている	5 掲示板、お知らせボードなどに表示している。
	感染症の疑いのある園児に対し、他児と接触しないようにするなど適切な処置、対応をしている	4 完全隔離とはならないが、事務室で対応している。
	睡眠チェックを年齢に合わせて必ず行い、SIDSの危険因子が無いようにしている	5 各クラスで睡眠チェックを行っている。うつ伏せになっていた場合は仰向けに直す。
AEDの使い方も含めた心肺蘇生法について職員全員が理解できるようにしている	5 年一回職員研修を行っている。	
食育	食育計画に沿って園児が食への興味や関心を高めることができるような活動や関わりをしている	4 毎月年齢や季節に合わせた食育を行った。野菜に触れたり、簡単なおやつを自分で作ったりして子ども達も楽しんで参加していた。
	安全、安心な給食やおやつの提供をしている	5 食材は中心温度を計り、提供時間に合わせて調理・盛り付けをした。殺菌消毒した調理器具を使い給食を提供出来た。
	旬の食材を使用したり、行事食を取り入れたりするなど季節を感じられるような献立作成をしている	5 誕生日メニューには誕生日ケーキを作ったり、手の込んだメニューで特別感を出せた。毎月、季節に合った食材を取り入れ、調理方法も工夫出来た。
	栄養だよりにて情報発信をしている	5 給食だよりにて園の給食の事や食に対する情報を発信できた。
	食物アレルギー対応を適切にしている	5 食物のアレルギー児には、アレルギー食材の完全除去や食器の色分けをして対応した。また、言葉のやり取りでの確認もした。
	離乳食は家庭と情報交換をし、一人ひとりに合わせた献立を作成し、提供している	4 初期から完了期まで献立を作成し、家庭には食材チェック表を渡し、一人一人の進み具合に合わせて対応した。
環境・衛生管理	室内の換気を適宜行い、室温、湿度や明るさ、音の大きさなど園児が心地よく過ごせる環境を整えている	4 各クラスで調整を行いながら環境を整えている。
	嘔吐物、排泄物の処理に当たっては感染防止のための処理を徹底している	5 全職員が認識している。会議などで伝えている。
	衛生的な空間で園児が生活できるよう、丁寧な清掃を行っている	4 各自、清掃場所が決まっており、衛生を保持するよう心掛けているが不十分な部分もある。
	調乳や園児の食事介助の際には、手洗いや備品の消毒をするなど衛生面の配慮をしている	5 食事介助時、食食用エプロンと三角巾を着用し、手洗いは必須。テーブル・椅子の消毒を行いながら拭いている。
災害への備え	保育所保育指針、災害への備えに基づき、災害等の発生に備えるとともに、防火設備、避難経路等の安全点検を定期的に行っている	4 定期的な点検を行っている。
	保育所保育指針、健康及び安全に基づき、緊急時の対応の具体的内容、手順、職員役割分担について確認をしている	3 個々での確認になってしまう事がある。
	毎月1回、避難訓練及び消火器訓練を行い、反省をして改善点について検討している	4 毎月を行っている避難訓練の後に、各クラス反省点を記入している。
	災害発生時の保護者への連絡、子どもの引き渡しを円滑に行えるよう体制や手順を決め、引き渡し訓練で確認をしている	4 年一回の引き渡し訓練前には、全体で会議を行っている。
	防災備蓄を用意し、保存期間の確認、必要に応じた入れ替えを行っている	4 年一度は確認し、入れ替えを行っている。
事故防止	園児の人数確認を定期的に行い、所在把握をしている	4 保育の中で定期的に行うようにしている。
	遊具や玩具の安全点検を定期的に行っている	3 遊ぶ前や、掃除の時などに点検をいている。
	園外での活動に際して、事前に危険箇所を把握し、安全に活動できるようにしている	4 会議の中で情報を共有すると共に、事務所に表を掲示している。
	日常的な事故予防として、ヒヤリハットを収集、分析し、事故予防対策に活用している	4 月に一度は会議を行い、活用している。
	不審者の対応など危機管理について職員で周知している	4 年に一度、警察官による防犯教室を行っている。普段の訓練行い、更に話し合っていきたい。
子育ての支援	睡眠、プール活動、水遊び、食事等の重大事故が発生しやすい場面について、マニュアルに基づきその場面に応じた適切な対応を行っている	4 毎年確認しあい、徹底出来るようにしている。
	保護者が積極的に半日保育体験に参加していただけるよう文書や掲示等で促している	5 子ども一人に対して、一度は行えるよう手紙や口頭で知らせ、機会を設けている。
	保護者からの相談に対してはプライバシーの保護や守秘義務を守り、親身に耳を傾ける態度で対応する	5 大切な話は、個別に会議室や事務室などで丁寧にしている。状況により、担任だけでなく主任や園長も同席する。
	状況に応じて内部の体制をとったり、外部機関との連携をとり、適切な家庭支援を行う	4 職員体制を整えたり、状況によっては外部機関と連携を密にし、丁寧な対応ができた。
職員資質向上	地域における子育て家庭の保護者等に対する支援を適切に実施している(育児相談・園庭開放・子育て情報誌)	2 地域の子育て支援事業には参加している。園独自としては、運動会での未就園児競技を設けている意外は実施していない。
	内部研修を計画的に行い、職員が共通認識の下で教育・保育にあたることができるようにする	2 会議などで、共通認識は出来るようにしている。内部研修は回数が少ないので、今後は更に機会を多く設け、丁寧に出来るようにしていく。
	キャリアアップを含む様々な内容の外部研修に参加できるよう職員体制を整え、資質向上に努める	4 自分の担当だけでなく、色々な外部研修に参加をしているが、全体に伝える機会が少なかった。今後は機会を増やし全体で学べるようにしていく。